



三方五湖自然再生協議会

再生目標

かつての生きもののにぎわいと、人のにぎわいを取り戻すため、先人の知恵と努力に感謝し、湖と人、人と人の関わりを見直しながら、将来にわたって三方五湖の恩恵を受けることができる誇りある地域社会の実現を目指す。

事務局：福井県、美浜町、若狭町
対象地域：福井県若狭町、美浜町
(三方湖(みかたこ)、水月湖(すいげつこ)、菅湖(すがこ)、久々子湖(くぐしこ)、日向湖(ひるがこ)の五つの湖からなる湖とその周辺地域)

設立日：H23.5.1
全体構想作成日：H24.3.4
実施計画作成日：H25.3.3
(R2.2 現在)



三方五湖は若狭湾国定公園、国の名勝、県の鳥獣保護区に指定され、またラムサール条約湿地に登録された貴重な湖です。それぞれの湖で塩分濃度や水深が異なり、多様な環境に応じて魚類など多くの生物が生息しており、三方五湖の汽水湖沼群漁業システムは、国の「日本農業遺産」に認定されています。

一方で、水質汚濁や生き物のすみかとなる植生帯の激減、オオクチバスやブルーギルなど外来生物の増加など、かつての豊かな三方五湖の自然環境は、急速に損なわれつつあります。

そこで本協議会では、「湖と里をとりまく自然と人のつながりの再生」をビジョンとして、自然再生に取り組んでいます。

自然再生の手法

- ▶ 多様な魚介類がすみ、水鳥が羽ばたく水辺の再生と保全
- ▶ 「三方五湖」の自然を活かした地域のにぎわいの再生
- ▶ 生活の中で受け継がれてきた湖の文化の伝承



たたき網漁(三方湖)



しじみ採り(久々子湖)



田んぼの生き物調査

関連ホームページ 福井県ホームページ：<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shizen/mikata-goko/kyougikai.html>



高安自然再生協議会

再生目標

絶滅危惧種(ⅠA類)のニッポンバラタナゴを含む地域固有の生物多様性を維持することで、人と自然が共生して暮らせる持続可能な地域づくりを目指す。

事務局：大阪経済法科大学地域総合研究所
対象地域：大阪府八尾市
(八尾市高安地域の大阪経済法科大学周辺や中地区、南地区、神宮寺、久宝寺緑地、恩智川とそれに流れ込む小河川)

設立日：H26.1.14
全体構想作成日：検討中
実施計画作成日：検討中
(R2.2 現在)



本地域は、古くから谷水と湧水を導水・貯水したため池を利用した農業が営まれ、今でも数多くのため池が残されています。ため池では水質維持のために行われてきた「ドビ流し」によりニッポンバラタナゴに代表される生物多様性豊かな環境が形成・維持されてきました。

しかし、本地域では農業の担い手の減少と高齢化が進み、人手不足により「ドビ流し」が行われなくなってきたため池が多くあります。

そこで、本協議会では、多様な人々による協働により、ドビ流しの実施などにより、ヒトの営みと自然が共生するための里地里山の再生方法や水辺の伝統的水管理手法等を踏まえた水循環・物質循環の再構築を目指します。

自然再生の手法

- ▶ 高安山の森林整備
- ▶ 里地里山の環境保全と再生
- ▶ 恩智川とその流域の水質調査
- ▶ 自然環境学習と地域と都市の交流



ニッポンバラタナゴ



高安山の森林整備



河内木綿の有機栽培

関連ホームページ NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会：<http://n-baratanago.com/ecology/kyougikai>